

廃棄物・環境セミナーウィーク2018

in 関西

2018年 10/3(水) ~ 5(金)

場所 大阪産業創造館 5階研修室AB (大阪市中央区本町1-4-5)

定員 各セミナー80名 (※定員になり次第締め切り)

聴講料 1セミナー10,000円 (資料代・税込)

- ① 9/18(火)までの早期申込なら1セミナー8,000円になります。
- ② お一人で2セミナー以上の複数申込、あるいは1社から2名以上の複数申込の場合は、9/25(火)までの事前申込の期間中、1セミナーにつき8,000円になります。

(ただし同時申込に限る)

| 日付 | 時間 (※いずれも20分前から受付) | |
|-------|-------------------------|--------------------------|
| 10月 | 午前 10:00~12:45 | 午後 13:30~16:15 |
| 3日(水) | A 「木質バイオマス発電の新分野と今後の展望」 | B 「食品リサイクル“最新”動向」 |
| 4日(木) | C 「中国の環境規制と廃プラ処理」 | D 「雑品スクラップとこれからの金属リサイクル」 |
| 5日(金) | E 「建設系廃棄物事業の変容」 | F 「改正廃棄物処理法の最新動向」 |

10/3(水) 10:00~12:45

A 木質バイオマス発電の新分野と今後の展望

~2MW未満、ガス化熱電併給~

FIT施行から約7年が経過し、木質バイオマス発電所の計画数は全国で約100カ所に上り、既に70カ所以上で大型の発電所が運転を開始しました。半数以上の施設が完成したものの、昨今は発電規模2MW未満の小規模発電や、ガス化して熱と電気を高効率に生産する小型ガス化施設が各地で建設されています。各分野の最新動向から事業性、課題解決のヒントとなる事例等を紹介いたします。



■講演①「木質バイオマス発電市場の今後の展望」 (仮)

(株)バイオマスアグリゲーション
代表取締役 久木 裕氏



■講演②「2MW 未満の地産地消型小規模発電」

バイオマスパワーテクノロジーズ(株)
最高技術責任者 プラント所長 西川 弘純氏

■講演③「国内初の小型ガス化熱電併給設備」 (仮)

新宮エネルギー(株)
代表取締役 尾地 裕一氏

10/3(水) 13:30~16:15

B 食品リサイクル“最新”動向

~バイオガス化事業の可能性を探る!~

食品リサイクルはニーズが高い一方で、原料の性状が幅広く出先確保も難しいため、その推進が大きな課題となっています。このような中、幅広い原料を受け入れることができ、さらに地域エネルギーの創出にもつなげられるとして「バイオガス化」への関心が急速に高まっています。そこで今回は、同分野の最前線で活躍する講師を招き、最新研究や、実際に事業を立ち上げ、展開する中で見えてくるノウハウや課題点について解説していただきます。



■基調講演「バイオガス化事業の可能性 ~処理から消化液利用まで~」

京都大学大学院農学研究科 農業システム工学分野
助教 大土井 克明氏



■事例紹介「縦型乾式メタン発酵施設で混合系バイオマスを地域エネルギーに」

(株)富士クリーン 企画部 企画開発課
課長 町川 和倫氏



■事例紹介「『バイオガスパワープラント伊賀』竣工で食品リサイクル事業拡大」

(株)大栄工業 営業部
統括部長 神寄 康之氏

※セミナータイトルや講演内容は8月23日現在の予定です。変更になる場合があります。

60th plus 1

主催：日報ビジネス(株) (週刊『循環経済新聞』、月刊『廃棄物』、隔月刊『イーコンテチャー』、『産廃NEXT』、隔月刊『地球温暖化』発行)

10/4(木) 10:00~12:45

C 中国の環境規制と廃プラ処理

～再生ペレットの国内生産とアジア輸出の原料利用～

中国が環境規制で廃プラ輸出が厳しくなりました。現在、プラスチックの使い捨て製品の不使用運動が世界で広がっています。海洋投棄プラの増加で、ウミガメが傷つき、生態系や環境破壊につながることから、プラスチック製品に対して使い捨て利用はなくす方向になってきました。国内回帰のため、再生ペレット生産や自国内でのリサイクル処理が増加してきました。海外ネットワークや国際循環の事例を中心に紹介させていただきます。



■事例紹介「国内再生ペレット生産 一利用先確保」(仮)

亜星商事(株)
代表取締役 山下 強氏

■事例紹介「海外ネットワークと国際循環 アジアで求められている原料化」(仮)

(株)アプライズ
顧問 和田 孝雄氏

■事例紹介「燃料利用、RPF など活用方法」(仮)

ご担当者 依頼中

10/4(木) 13:30~16:15

D 雑品スクラップとこれからの金属リサイクル

～激変するメタル循環の新たな一手～

昨今、いわゆる“雑品スクラップ”は廃棄物・リサイクル分野で大きな関心事となっています。昨年の法改正により、雑品スクラップは「有害使用済機器」として強化された一方、主要な輸出先である中国の廃棄物貿易規制を受けて、国内処理体制の確立が急務です。本セミナーでは、雑品スクラップにまつわる法改正の内容や、輸出・リサイクルの動向、今後の金属リサイクルに向けた事例を紹介します。

■基調講演「雑品スクラップ対策の概況」(仮)

環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物規制課
ご担当者 依頼中

■調査報告「雑品スクラップの輸出動向」(仮)

(株)鉄リサイクル・リサーチ
代表取締役社長 林 誠一氏

■事例紹介「金属リサイクルの新たな方向性」 (仮)

(株)アビツ
ご担当者

10/5(金) 10:00~12:45

E 建設系廃棄物事業の変容

～人手確保・企業買収・労務対策で攻めのビジネス～

少子高齢化に伴う労働人口の減少は、産廃業界にとっても大きな問題となっています。それを補うため、同業者間での買収・吸収合併が目立ちはじめました。従来型の敵対的なものではなく、人手不足や後継者の不在を理由としたものへと様変わりしてきているのが特徴です。本セミナーでは、建設系廃棄物事業における企業買収の実情はじめ、近年多発する労使トラブルにも触れ、攻めの経営のヒントとなる情報を発信していきます。

■ケース1「人手不足解消のビジネスモデル ～外国人労働者採用のメリット・デメリット～」 (仮)

(株)南海興業
代表取締役社長 田中 公治氏

■ケース2「企業買収で新たなビジネス展開」(仮)

建設系廃棄物処理業者
ご担当者 依頼中

■ケース3「労使トラブルの未然防止と具体的取り組み ～ウチは大丈夫だと思っていないませんか？ そんな会社が一番危ない～」 (仮)

中小企業サポートセンター
代表 特定社労士 宮本 宗浩氏



10/5(金) 13:30~16:15

F 改正廃棄物処理法の最新動向

～政省令のポイント解説から不適正処理事案の判例まで～

改正廃棄物処理法が4月1日に一部を除いて施行されました。廃棄物を取り巻く問題は近年複雑化する一方で、社会からは法令順守が厳しく求められており、排出事業者・処理業者にとってのリスクは、ますます高まっています。本セミナーでは、廃棄物処理の実務に不可欠な改正法の最新情報を徹底解説。最近の不適正事案の判例なども紹介します。



佐藤泉法律事務所
弁護士 佐藤 泉氏

佐藤 泉氏 プロフィール

環境関連法を主な専門とし、特に企業の廃棄物処理法、土壌汚染対策法に関連したコンプライアンス体制の構築、紛争の予防及び解決で名高い。第一東京弁護士会の環境保全委員会委員、東京都廃棄物審議会委員、経済産業省産業構造審議会委員等の役職に数多く就任。主な著書には、「廃棄物処理法重点整理—弁護士の視点からみる定義・区分と排出事業者」などがある。

お申込みはFAXで・・・06-6262-2090

| | | | | |
|-------------|---------|----|--|------|
| フリガナ 会社名 | | | | 事務局欄 |
| 申込者名 | | 所属 | | |
| 連絡先 住所 | 〒 _____ | | | |
| | TEL: | | | FAX: |
| | MAIL: | | | |

(今後、Eメールでのご案内を希望される方)

■業種 (該当するところに○) ※講師、当事務局のご参考とさせていただきますのでご記入ください

1. 環境機器・機材メーカー 2. プラントメーカー 3. 製造業・販売 4. 商社・ディーラー 5. 流通業 6. 医療機関
7. ホテル・飲食業・外食産業等サービス業 8. 建設業 9. 住宅・不動産業 10. 解体工事業 11. 一般廃棄物処理業
12. 資源回収業(廃プラ) 13. 資源回収業(その他) 14. 産廃収集運搬業 15. 産廃中間処理業 16. 産廃最終処分業
17. 新エネ・省エネ関連業 18. 学識者 19. 一般市民・学生等 20. 中央官庁・地方公共団体
21. 関係諸団体 22. 調査・情報機関 23. その他 ()

| | | |
|---|--|--|
| <p>■セミナー番号とタイトル</p> <p>10月3日(水)開催</p> <p>【A】木質バイオマス発電の新分野と今後の展望 ～2MW未満、ガス化熱電併給～</p> <p>【B】食品リサイクル“最新”動向 ～バイオガス化事業の可能性を探る!～</p> | <p>10月4日(木)開催</p> <p>【C】中国の環境規制と廃プラ処理 ～再生ペレットの国内生産とアジア輸出の原料利用～</p> <p>【D】雑品スクラップとこれからの金属リサイクル ～激変するメタル循環の新たな一手～</p> | <p>10月5日(金)開催</p> <p>【E】建設系廃棄物事業の容容 ～人手確保・企業買収・労務対策で攻めのビジネス～</p> <p>【F】改正廃棄物処理法の最新動向 ～政省令のポイント解説から不適正処理事業の判例まで～</p> |
|---|--|--|

| 参加者氏名(フリガナ) | 部署名 | お役職 | セミナー番号 | セミナー番号 | セミナー番号 |
|-------------|-----|-----|--------|--------|--------|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

| | | |
|---------------------|-----------------|---|
| 合計金額 | 円 | <p>● 1セミナー お一人10,000円(資料代・税込)</p> <p>事前申込締切日2018年9月25日(火)15:00(定員になり次第締め切らせていただきます)</p> <p>【特典割引】</p> <p>★9月18日(火)までの早期申込みなら1セミナー-8,000円になります。</p> <p>★お一人で2セミナー以上の複数申込、あるいは1社2名以上お申込みの場合は事前申込の期間中、お一人様1セミナー-8,000円になります。(※ただし同時の申込に限る)</p> |
| 振込者名 | | |
| 振込締切日 2018年9月27日(木) | 振込予定日 2018年 月 日 | |

■お申込みの流れ

- ①参加申込書を必要事項記入の上、事務局へFAX
- ②受理後、請求書を **お申込者へ郵送** (※請求書は、1週間以内に発送します。お急ぎの方はご連絡下さい。)
- ③参加費を指定の口座へ振込 (※原則として事前支払い)
- ④開催1週間前、事務局より **参加者へ「聴講券」を郵送でお送りします。**

■参加費振込先

銀行振込先:みずほ銀行船場支店(普通預金) 店番号:513 口座番号:2190114

振込先名義:日報環境セミナー

お願いその1 締切日間近は大変混雑いたしますのでなるべくお早めにお振込をお願いします。

お願いその2 銀行振込の控えを領収書としてください。振込手数料はご負担くださいますようお願い申し上げます。

*参加人数が3名様以上の場合は、恐れ入りますが用紙をコピーしてください。定員になり次第締め切らせていただきます。

*本セミナーにお申込みいただいた方の個人情報は、無断で第三者に提供されることはありません。また、弊社のセミナー開催等についてのご案内をさせていただく場合がございます。

*お申込みのお取消しについて

セミナー事務局にて9月27日(木)まで承ります。以降の申込み分やお申し出は原則として対応しておりません。お取消しをいただきましても返金はいたしかねますので、ご了承ください。

■お問合せ